

基 調 講 演

テーマ：宇宙技術を利用した地盤変位モニタリングと建設・維持管理・防災への適用
-見えないものを見えるようにする技術-

講 師：山口大学 工学部 教授 清水 則一



略 歴

1981年 神戸大学助手
1992年 山口大学助教授
2000年 山口大学教授
2003～2006年 山口大学地域共同研究開発センター長，産学公連携・創業支援機構副機構長
2010～2012年 一般社団法人 岩の力学連合会理事長
2015～2019年 国際岩の力学会副総裁

研究活動・著書他

受賞

平成 29 年 防災功労者 内閣総理大臣表彰
平成 28 年 第 2 回内閣府宇宙開発利用大賞 国土交通大臣賞
平成 28, 24 年 ダム工学会論文賞
平成 24 年 地方教育行政功労者 文部科学大臣表彰
平成 22 年 電力土木技術協会 高橋賞
平成 21, 18 年 岩の力学連合会 技術賞，論文賞
平成 19 年 山口県科学技術振興奨励賞，その他

学会活動

国際岩の力学会，岩の力学連合会，土木学会，地盤工学会，日本地すべり学会ほか

研究テーマ

宇宙・先端技術を活用したモニタリングシステムの開発と実務への適用
斜面・地すべりの安定評価，ダム の安全監視，トンネル，地下空洞の建設，維持管理
地下空間デザイン

講演概要

社会基盤施設の建設，維持管理，さらに，防災・減災において，モニタリングは欠かくことのできない技術である。一方，対象とする構造物や管理する領域は小規模から大規模に及び，さらに，日常的な管理から豪雨や地震などの非常時の点検まで，モニタリング技術への期待はますます大きなものとなっている。

このような要請に応えるモニタリング技術とはどのようなものであろうか？本講演では，斜面，地すべり，広域地盤沈下，また，ダムのような大型構造物を対象に，これまでの技術に加えて宇宙技術を組み合わせた新しいモニタリングの考え方を述べ，安全監視の実例を紹介する。